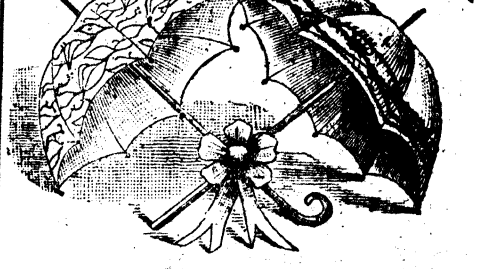


保壽西洋會社



日本橋區人形町通長谷川町
電話浪花 千二百〇九番

**東京橋區銀座貳丁西側
甲斐編屋支店**

電話番號 本局千六百三十三番

例年之通優美なる新荷
到着致候に付六月
一日より三日

相變御用出仕候間不
相候御用出仕候間不
物並に開業致は美術の
たのしみ 御合方の方



保

電話浪花 千二百〇九番

●本社ハ毎日生命保險ノ申込ヲ受ケ規則當ハ申越ス大坂及仙臺ニ支店ヲ置キ其地各地方ニ代理店申越ス

保

●東京橋區三丁目五番地 ●本局電話一、三五二番

小松宮妃殿下の御下せ給へる本會は新
に請修期を開き會員を募集す●本會の目
的は女子教育の普及を網羅したる高等
女學校課程の學科を網羅したる高等
家庭を離れ難き女子をして居ながら通
信教授を受けしむるに在り●本會講義録
は其講義の懇切周到にして家庭の長幼也
に世上の定評也●會費每月三十錢東條三
十錢詳細の會則は會費券以下再版出來せり
東京橋區三丁目五番地 ●本局電話一、三五二番

大日本女學會

●本會は福壽先生が多年心を凝めし著述にして
正價上製一冊十錢並製三十五錢郵費六錢
何れも先生自筆の題辭並製三十五錢郵費六錢
に先づ先生自筆の題辭並製三十五錢郵費六錢
に先づ先生自筆の題辭並製三十五錢郵費六錢
に先づ先生自筆の題辭並製三十五錢郵費六錢

福翁百話の第八版

第五回卒業生姓名左ノ如シ

甲 水崎太夫 藤野一六
乙 重野次郎 藤野一六
丙 藤野一六 藤野一六
丁 藤野一六 藤野一六
戊 藤野一六 藤野一六
己 藤野一六 藤野一六
庚 藤野一六 藤野一六
辛 藤野一六 藤野一六
壬 藤野一六 藤野一六
癸 藤野一六 藤野一六

●本會事務員養成所

日文社

東京橋區尾張町二丁目四番地
電話開通 浪花千三百三十七番

營業項目 (規則書は二錢郵券)

第一 會社銀行商店等事務員の紹介周旋
第二 土地建物の買及借付の紹介周旋
第三 時事新聞の特約及借付の紹介周旋
第四 諸新聞雜誌等廣告の取次

左記の件々申込有之候に付之に對し希望の御
方に至急本社へ御申越可被下候

職業を求むるもの

●銀行會社員 (一) 應酬應答卒業生にて目下
役職の收入役を勤む二十四才一七才法律學校
卒業生にして英語學識に達す年廿五才
●仲買店員 某商業學校三年卒業生廿五才
銀行員又株式仲買店員たりし事あり年廿二
才

土地家屋を賣却するもの

●青山の近邊 八百七十五坪餘の宅地將來有
望の地なり建坪三十九坪の家屋附屬す
●本郷の近邊 現に下宿業を営みつゝある者
諸道具一式附屬賣却す私立病院にも適す

土地家屋を買入るもの

●麻布赤坂邊 又は本郷近邊の閑靜の地に於
て建坪拾餘坪の家屋買入を望むものあり
●牛込の近邊 建坪十二坪の官更向の家屋
するに三千圓位の家屋買入を望むものあり
●築地の近邊 官更に適する三千圓の家屋

●麻布赤坂邊 又は本郷近邊の閑靜の地に於
て建坪拾餘坪の家屋買入を望むものあり
●牛込の近邊 建坪十二坪の官更向の家屋
するに三千圓位の家屋買入を望むものあり
●築地の近邊 官更に適する三千圓の家屋

社説

**外資輸入の制限と
解く可し**

外國との交通頻繁となりて内外金融市場の
關係密接するに從ひ政府が殊更に人為の干
渉を施さざるも外資は自然に内國へ流入して
金融を緩和し事業の發達を促すに至るは必然
の成行にして例へば日本銀行の金利が非常の
高歩に騰貴すれば銀行なり事業家なり世間に
多少の信用あるものは之に依頼するを止め所
有の公債其他の證券を抵當として低利に外資
を輸入するの結果を見る可し現に此種臺灣銀
道會社は英商より五分の利子にて百五十萬磅
の資金を借入るの約束を結たりと云ふ内國
の金融市場非常に通迫して資金の欠乏を訴ふ
るの折柄日本國人が格別の不利益をも見ずし
て借入の目的を達したるは事業進行の爲に此
上もなき好都合にして斯く外資が自然の道筋
を経て輸入せらるる場合には政府が巨額の外
債を募集して公債を償還するなどの輸入法と
異なり經濟社會に急激の變動を與へざるは勿
論輸入の外資は盡く事業の業所に注入せられ
て充分の利殖を得るを得るもたらん即ち
我輩が外資の輸入を自然の成行に一任可し
と云ふ所以にして 今後内地の事業家が臺灣銀
道會社の例に倣ひ政府の干渉を快たすして次
第に外國の資本家より低利の資金を借入れ内
外金融の共通を謀るを最も望まじき所なれ
ども此目的を果さんには先づ政府に於て外資
輸入に關する制限を除いて大に門戸を開かさ
る可らず其方法として第一に必要なるは外人
をして一切の株式を所有せしむるにあり從來
政府が特に法律を以て外人に日本銀行正金銀
行鐵業會社并に取引所の株式所有を禁止す
る他の一方には海運造船業に關係の會社にし
て法定の獎勵を得んとするものは外人に株
主と爲すを得ざるなど窮乏の規定を設けたる
其主旨は右の諸會社は政府より種々の特權若
しくは獎勵金と與へらるるを以て外人を株主
と爲すときは彼等をして保護の利益に浴せし
むるの不都合を免かれざるのみか資力の豐な
る外人が大に資金を輸入して諸會社の株式を
買占めんには彼等の爲めに營業を左右せらる
るの結果を見る可ければ專ら株主を内國人の
みに限る可しとの考に出でたるものならん又
改正條約實施の際に外人が大に鐵道會社の株
を買収すれば有事の際に鐵道を軍事上の用に
供し難きの掛念あれば今日に於て國有鐵道の
主義を取る可しと唱ふる者あれども斯の如き
は實際に通ぜざる迂闊の議論にして例へば日
本銀行に紙幣發行の特權あるが爲め銀行の收
益漸だ豐なりとあれば其株式の價格が他に比
して自から高價を保つ可きは必然の成行にし
て外人の買収を促す可きは必らず價格の

●敍任辭令

任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄

●敍任辭令

任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄

●敍任辭令

任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄
任市立大原高等學校教諭 長計藤岡隆雄

●伏見宮殿下の覽樂觀察

馬地方へ行軍中なりし伏見宮殿下には去月十
八日御歸京の途次同縣藤原町なる高山社觀
の實況を觀察せんとて同社(御立寄)あら
れ同社にては社長以下一團團員は奉迎して
に同社に御立寄に際しては御立寄の上の
盛況を御覽あらせられたりと云ふ

●伏見宮殿下の覽樂觀察

馬地方へ行軍中なりし伏見宮殿下には去月十
八日御歸京の途次同縣藤原町なる高山社觀
の實況を觀察せんとて同社(御立寄)あら
れ同社にては社長以下一團團員は奉迎して
に同社に御立寄に際しては御立寄の上の
盛況を御覽あらせられたりと云ふ

●伏見宮殿下の覽樂觀察

馬地方へ行軍中なりし伏見宮殿下には去月十
八日御歸京の途次同縣藤原町なる高山社觀
の實況を觀察せんとて同社(御立寄)あら
れ同社にては社長以下一團團員は奉迎して
に同社に御立寄に際しては御立寄の上の
盛況を御覽あらせられたりと云ふ

●伏見宮殿下の覽樂觀察

馬地方へ行軍中なりし伏見宮殿下には去月十
八日御歸京の途次同縣藤原町なる高山社觀
の實況を觀察せんとて同社(御立寄)あら
れ同社にては社長以下一團團員は奉迎して
に同社に御立寄に際しては御立寄の上の
盛況を御覽あらせられたりと云ふ